

口腔内蛍光観察装置「ORALOOK」を導入し、口腔がん検診に取り組まれている先生へのインタビューを掲載します。この他にも多くの先生方の好事例についてご説明させていただきますので、是非お問合せください。



蛍光観察装置「ORALOOK」を使って
口腔がん検診を実施する様子。

蛍光観察装置のご導入に至ったきっかけを教えてください。

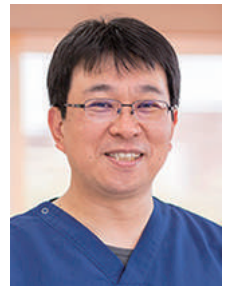
当院は、口腔外科を専門とする一次医療機関として開業したこともあり、当初より「口腔がん検診」を実施しておりました。私は開業までの18年間、口腔外科医として仕事をしてきましたので、早期がんと進行がんでは治療方法が異なり、さらに治療予後にも差が出ることは実感しています。当然、早期発見・早期治療が望まれるところですが、そのためには、一般市民の方にもっと「口腔がん」のことを知ってもらうことが必要で、その活動のひとつとして「口腔がん検診」に取り組んでいます。

これまでの当院で行う「口腔がん検診」は、口腔粘膜病変を疑う部位にヨード染色を行い、不染域の有無で判断していました。このヨードは、なかなか刺激が強く、受診者の負担が大きいものでした。そんな時に「蛍光観察装置」の存在を知り、早速導入しました。

どのような内容で口腔がん検診を実施していますか？

口腔がん検診は予約制で行っています。まず問診票の記載を行っていただき、視診、触診で口腔内全体の観察を行います。ここでは、病変の有無はもちろん、不適合補綴物の有無も診査します。続いて「蛍光観察装置」を用いて口腔内撮影を行います。そこで受診者には、一度待合室で待機していただきます。その間に画像の確認、口腔がん検診報告書の作成を行います。最後に検診結果を説明して終了です。

口腔がん検診の費用は¥3,850（税込）です。これは、先程も述べたとおり「口腔がん」を知っていただくための活動ですので、できるだけ多くの方に受診して頂けるように費用を安価に設定しました。



お話しを
お伺いした先生

長野市開業
のぐち歯科・
口腔外科医院
野口 和秀 先生

口腔がん検診の取り組みを始めていかがですか？

当初予想していたよりも反響が大きいというのが正直なところです。ほとんどの方が医院のホームページからのネット検索で「口腔がん検診」を知り、予約をいれて頂いています。特に3年前、著名人の口腔がん報道があった際には、検診希望の方が殺到しました。遠方からの方も多く、県内では、長野市外（松本市、上田市、佐久市など）から、また、隣接する県外からは、富山県、新潟県、山梨県の方も受診されました。遠方から来ていただいた方は口を揃えて、口の中の病気をどこで診てもらえるかが分からないから「口腔がん検診」を行っている先生のところに来たと言っておりました。当時、報道後の1年間で、264名の方が「口腔がん検診」の希望で当院へ来院されました。そのうち、実際口腔がんと診断された方が6名いらっしゃいました。1名の方は施設入所中の方で進行がんの状態でしたが、その他の5名の方は、著名人の報道を受けて来院され、早期発見・早期治療につながったケースです。

このことは、当院の特徴である口腔外科を専門とする一次医療機関としての役割であり、「口腔がん検診」に取り組んだ成果であると考えています。

ORALOOKをご利用になってどうですか？

ORALOOKは、軽量で非常に使いやすい蛍光観察装置であると思います。画像の記録、保存、報告書の作成などが簡単に行えて、非常に助かっています。

導入・検討中の先生方へ一言

口腔がんは、口腔内を診るだけで直接確認できる疾患です。そこが、胃がんや大腸がん、肺がんなどの他の部位の疾患と異なる点です。当然、歯科医師が口腔がんの第一発見者になることも多いと思います。そこで蛍光観察装置を導入することで、得られた画像から病変部の精査が必要であるか否かの判断ができます。また、視覚的に分かりやすい画像ですので、患者様に直接説明する資料として大変役に立ちます。是非、導入をご検討下さい。



口腔がん検診を受けるため遠方から訪れる患者さんも多い

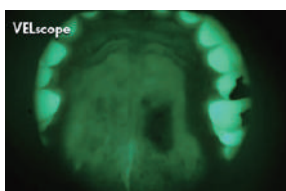
医院訪問によるご説明を随時受け付けております。

粘膜疾患鑑別の補助としての口腔内蛍光観察装置

日常臨床においてさまざまな口腔粘膜疾患に遭遇し、それが口内炎なのか、早期口腔がんなのか、その鑑別に苦慮する経験はお持ちでないでしょうか？口腔内のスクリーニングで用いられる低侵襲な検査として生体染色法がありますが、ヨード染色であればアレルギーの患者さんには使用できません。また使用できない部位もあります。細胞診によるスクリーニングにおいては、結果が分かるまでに時間を有する場合があります。

近年、視診・触診の補助として、蛍光観察装置の利用が着目されています。蛍光観察装置は青色光を照射し、その励起光を観察します。患部に非接触であり侵襲はなく、繰り返し施行が可能です。その場ですぐ確認できるというスピード感が好評です。

多くの患者さんを診る一般開業歯科医の先生方にこそ、手軽に口腔がんのスクリーニングを目的として使用可能な蛍光観察装置の利用をオススメいたします。



一般開業医の
皆様にこそ
使ってほしい